



乙島っ子

令和4年度 NO. 29

令和5年 3月16日 倉敷市立乙島小学校

令和4年度 乙島小学校の「通知表」



さる3月9日、これまで6年生がリードしてきた「縦割り班遊び」を、これから「乙小リーダー」となる5年生がリードし、たどたどしいながらも一生懸命に、しかも、「全校遊び」として、6年生に「ありがとう」を伝えました。年末には、「学校評価」のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。先日、印刷物にて集計結果をお知らせしましたが、特に、本校の「めざす子ども像」に関わる評価結果は、次の通りとなりました。

「にこにこ あいさつ」

※次年度の課題…教師自らが「手本」を示す。「多様な」挨拶の在り方を提示する。

保護者の方の評価は少し上がりましたが、児童の自己評価は5%ダウン…。指導する側の教師の評価も低いです。

児童	76.7%
保護者	74.3%
教職員	77.8%

「いきいき べんきょう」

※次年度の課題…学校での学びを家庭でも再現できる「自主学習」の更なる充実。

児童の自己評価は3%アップに対し、保護者の評価は3%ダウン！家庭学習の重要性を再認識する数字。

児童	77.6%
保護者	71.1%
教職員	85.2%

「のびのび うんどう」

※次年度の課題…体育科等に限らず、「体を動かす機会」の量と質の充実を図る。

児童の自己評価は2%アップし、保護者の評価は、5%ダウン…。コロナ禍で「体力ダウン」もいわれており、課題！

児童	90.4%
保護者	83.6%
教職員	96.3%

「いそいそ さぎょう」

※次年度の課題…引き続き、「いそいそ」の先の「上手に」をめざし、がんばるぜ！

児童の自己評価は1%下がり、保護者の評価は、1%アップ！もともと高い数字ではありますが、アップは喜ばしい！

児童	91.4%
保護者	92.0%
教職員	92.6%

「学校が楽しい」こそが、学校が究極にめざすもの

児童、保護者ともにアンケートの最初の設問は、「学校が楽しいか」を問うものになっています。右は、児童、保護者の「そう思う」の回答結果を経年比較で示したものです。本年度は、保護者の方からの評価がありがたいことが分かります。

「学校が楽しい」は、学校の究極の目標であると考えます。そこで、次年度も、教師の「は・ひ・ふ・へ・ほ」をめざします。

「は」なし上手…「知的好奇心」をかきたてる話に努めます。
 「ひ」きだし上手…「自分のよさ」を生かせるようにします。
 「ふ」れあい上手…児童、保護者と「通じ合い」を目指します。
 「へ」んしん上手…指導者、相談者などの役を使い分けます。
 「ほ」め上手…「超具体」など、ほめ方の「科学」を追究します。

